

Elazzio

SEAT COVER



SUZUKI
SPACIA
SPACIA CUSTOM
MAZDA
FLAIR WAGON
FLAIR WAGON CUSTOM STYLE

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

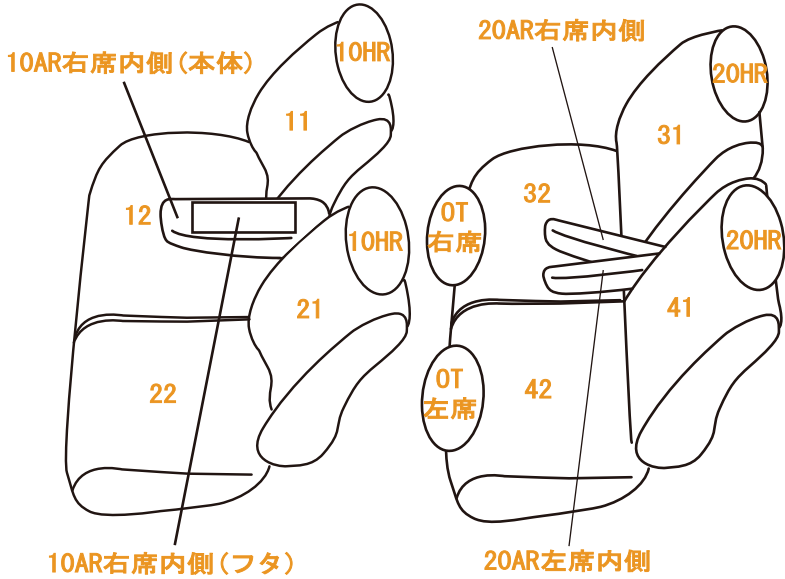
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~8P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 9P~10P
1 列目背もたれ装着方法	…> 11P~14P
2 列目座面の装着方法	…> 15P~18P
2 列目背もたれの装着方法	…> 19P~22P
ヘッドレストの装着方法	…> 23P~24P
1 列目アームレストの装着方法	…> 25P~27P
2 列目アームレストの装着方法	…> 28P
マルチユースフラップの装着方法	…> 29P~32P
完成図	…> 32P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 33P~34P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(ソケット : 10mm / 12mm / 14mm)
- ② プラスドライバー(No. 2)
- ③ クラツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年1月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



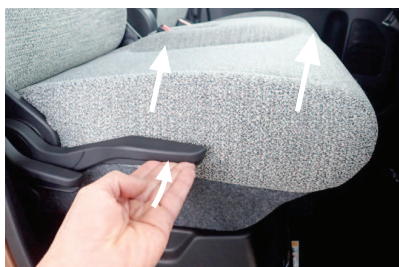
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



- 1 シートリフターを操作して、シートを一番高い位置に調整します。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して、生地を入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 2 アームレストの下部分です。
シートに引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。
シートベルトのバックルをカバーで覆わないようにしてください。



- 5 シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。



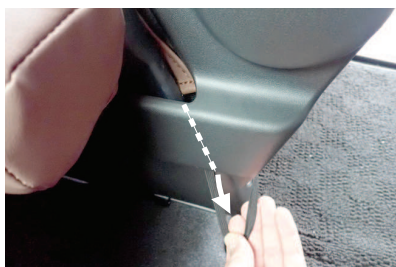
- 3 2番でカバーをかぶせた部分を軸として、シート全体にカバーをかぶせていきます。シートリフターの内側にカバーを通してください。
カバーをシートのラインに合わせて整えます。



- 6 シートの外側面です。
カバーの下側をめくると、生地の裏側にマジックテープが付いています。
マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 7** 6番でめくり上げていた部分を下ろして、カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。
この作業はシートを一番高い位置に調整していないとできない作業になります。



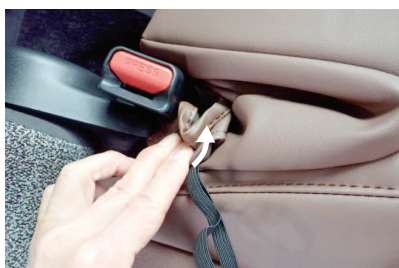
- 10** 入れ込んだゴムをシートの裏から引き出します。



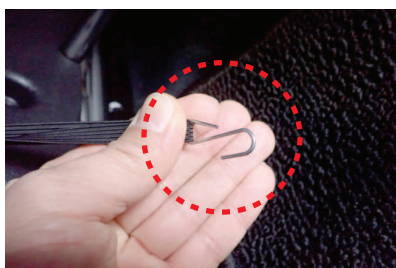
- 8** シート内側の軸部分です。
生地の手を図の隙間に入れ込みます。



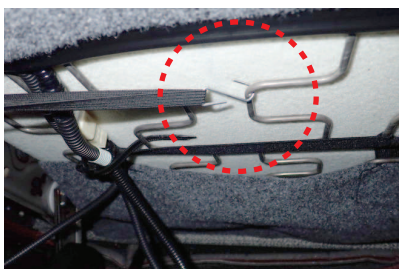
- 11** ゴムを図の隙間を通して、シート中央の裏側に引き出します。



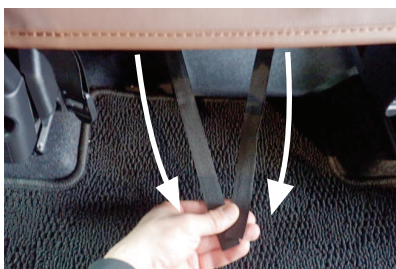
- 9** シートベルトのバックル付け根部分です。
バックルの内側に端にゴムが付いた生地をゴムと一緒に入れ込みます。



- 12** ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



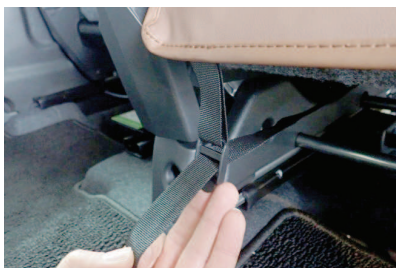
- 13** 金属フックをシート裏の金属のフレームに引っ掛けて固定します。



- 16** シートの背面側からベルトを引き出します。



- 14** シートベルトのバックル部分の生地を、シートに沿わせるように整えます。



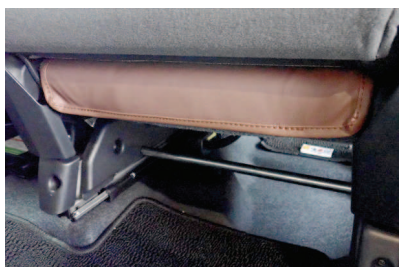
- 17** 引き出したベルトを5番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



- 15** カバーの前側に付いている2本のベルトをシートの裏から背面側へ入れ込みます。ベルトはスライドレバーの上を通すようにしてください。



- 18** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、生地が破れたり、ベルトが切れる恐れがありますので、注意してください。



19 シート背面のカバーは図のようになります。



20 一番上に調整していたシートを下げると、生地の手がプラスチックパーツの隙間からはみ出してくることがあります。その場合はヘラなどで生地を入れ込み、整えてください。



21 カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。

Step 2

1 列目助手席座面の装着方法



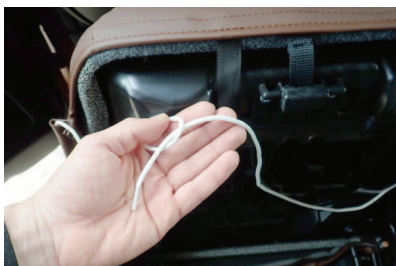
- 1** シートの前側から、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4** シートを跳ね上げた状態でシートの裏側で作業を行います。
カバーの左右から出ているひもの片方で図のように輪を作ります。



- 2** シートを跳ね上げる際に使用するストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



- 5** 作った輪にもう片方の輪を通します。



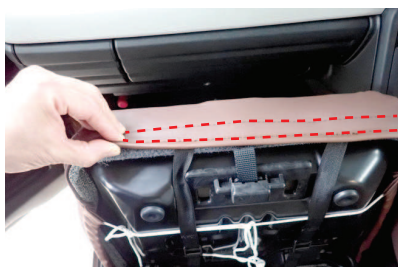
- 3** シートを跳ね上げて、シートの背面側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 6** 通したヒモを引くことでシートの下回りが絞り込まれます。
絞り込んだ状態でひもが緩まないように結び留めます。



- 7** シートの軸部分です。
軸周りの生地を内側へ入れ込みます。



- 10** シートの背面にマジックテープを直接貼り付けて固定します。



- 8** カバー前後のベルト2本を固定します。
ベルトの固定方法は、7ページ18番を参考にしてください。



- 11** シートの裏側は図のようになります。



- 9** ベルトは図のシートを固定する部分を覆わないように注意して下さい。



- 12** カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

Step 3

1 列目背もたれの装着方法

※当説明では、スペースシアの1列目背もたれを使用しています。スペースシア カスタムと一部形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行ってください。

また1列目背もたれは運転席・助手席共に基本的には同様の固定方法です。16番の説明部分のみ、運転席と助手席で装着方法が異なりますので、そちらに注意してカバーの装着を行ってください。



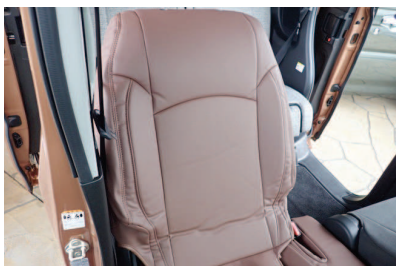
- 1** 運転席はアームレストを外します。アームレスト外側のキャップをヘラなどを使用して外します。



- 4** ボルトを外すと図のようにテーブルが外れます。



- 2** ソケットレンチを使用してボルトを外します。ソケットは12mmを使用します。ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。



- 5** シートのラインに合わせて、シート全体にカバーをかぶせます。



- 3** シート背面のテーブルを外します。テーブルを起こします。テーブル裏のボルト4本を、ソケットレンチを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



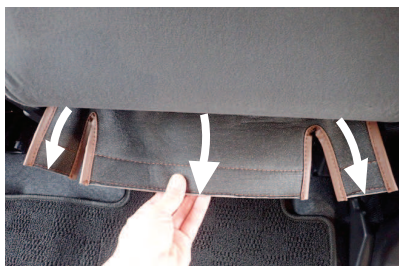
- 6** ヘッドレストの台座を取り出します。まずヘッドレストの台座の片側の生地をしっかりに入れ込みます。



- 7** 生地伸びを利用してヘッドレストの台座を取り出します。
 革を使用したカバーや一部生地が伸びにくいカバーでは、加工穴が裂けてくる場合があります。慎重に作業を行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



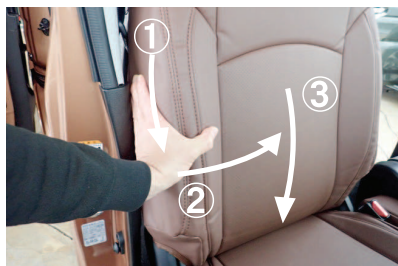
- 8** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
 背もたれの角度を調整して、生地を入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 9** 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



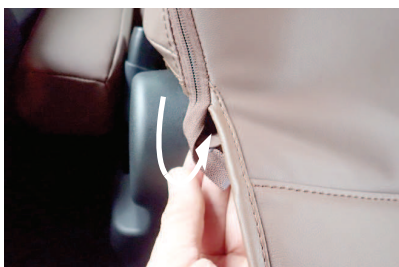
- 10** シートの軸部分です。
 軸の外側に生地を引っ掛けるように入れ込みます。外側・内側共に行ってください。



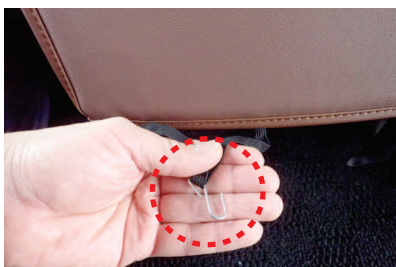
- 11** カバーをシートに馴染ませます。
 図の①～③の順番にシートに密着させるようにして、シワを無くしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行ってください。



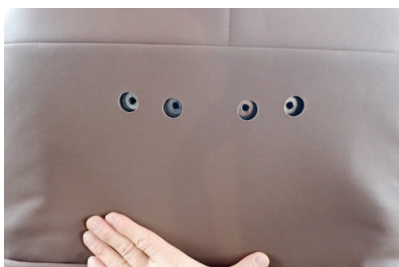
- 12** カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じていきます。



- 13** ファスナーの端をカバーの内側に入れ込みます。



- 16** カバーの背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。
この作業は助手席のみ一部異なります。19番から確認してください。



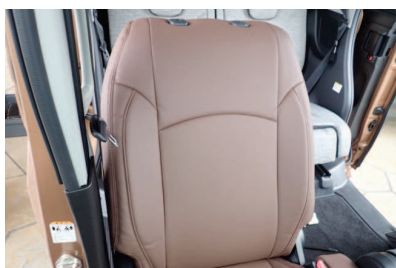
- 14** この段階でテーブルを固定していたボルト穴とカバーの加工穴がずれていないか確認してください。ずれている場合はカバーの装着を見直してください。



- 17** テーブルを元通りに固定します。ボルトを強く締めすぎるとプラスチック部分が割れてしまうので注意してください。



- 15** 9番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



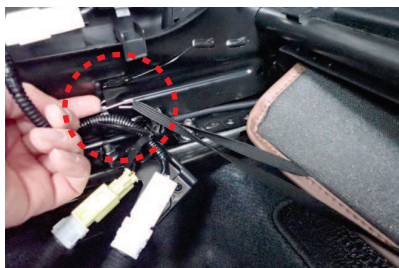
- 18** カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。



- 19** 助手席背もたれです。
16番の金属フックを引っ掛ける部分が運転席と異なります。
座面を跳ね上げて、ボックスを外します。



- 22** ボックスを元に戻してゴムに当たっていないか確認してください。



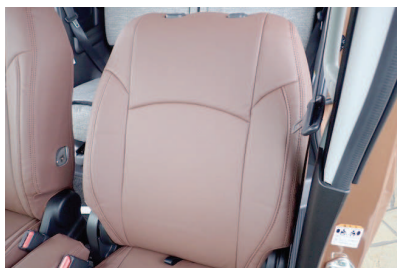
- 20** 金属フックをシートフレームの側面に引っ掛けて固定します。
この際ゴムをあまり引っ張りすぎると19番で外したボックスがゴムに当たり浮いてしまうので、ゴムはあまり引っ張り過ぎない位置に引っ掛けて固定してください。



- 23** シートの背面下は図のようになります。



- 21** シートの外側も同様に、ゴムをあまり引っ張らないようにして、シートフレームの側面に引っ掛けて固定します。



- 24** カバーのラインを整えて、助手席背もたれの完成です。

Step 4

2列目座面の装着方法



- 1 マルチユースフラップをシートから外します。図のようにマルチユースフラップを前に出すと、一定のところで止まります。これを止まらないようにすればマルチユースフラップがシートから外せます。



- 2 運転席側のシートを前にスライドさせて、助手席側のシートを後ろに下げた状態にします。助手席側から運転席側のシート裏を見るとマルチユースフラップの軸部分が見えます。またその先端にボルトが付いているのが見えます。



- 3 ボルトをソケットレンチを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。マルチユースフラップを一番前まで出した状態だとソケットが入らないので注意してください。



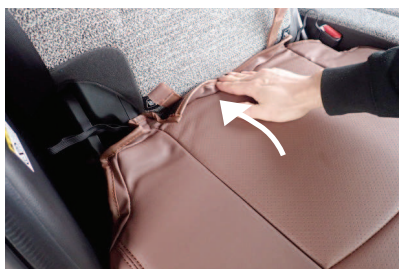
- 4 少し遠くから見た図になります。ボルトは軸の内側のみ付いています。



- 5 ボルトを外すとマルチユースフラップをシートから外することができます。



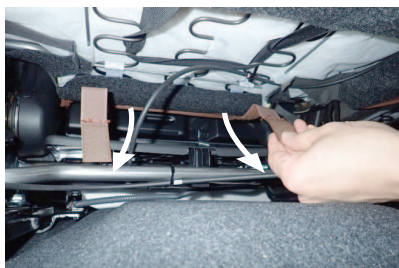
- 6 シートの前側から、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。この際、図の赤矢印部分の生地が張るように、しっかりとかぶせてください。



7 背もたれと座面の隙間に、端にマジックテープが付いた生地を入れ込みます。



10 マジックテープを2本共固定すると図のようになります。



8 端に付いているマジックテープ2本を、シート裏から引き出します。



11 マルチユースフラップを外したシート部分に生地を馴染ませながら、カバーの裏側に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。まず上側のマジックテープを固定します。



9 マジックテープをシート裏のフレームに巻き付けて折り返します。先端のオスのマジックテープをメスのマジックテープに貼り付けて固定します。
マジックテープを強く引っ張りすぎるとシートのクッションが凹む場合があります。適度な位置で固定してください。



12 次に下側のマジックテープを固定します。マルチユースフラップの軸を差し込む位置と、カバーの加工穴の位置がずれないように固定してください。



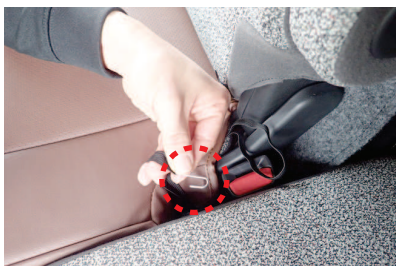
- 13** シートの外側です。
カバーの端に付いているマジックテープをシート裏に直接貼り付けて固定します。この際、マルチユースフラップを引き出すスイッチとカバーの加工穴の位置がずれないようにしてください。



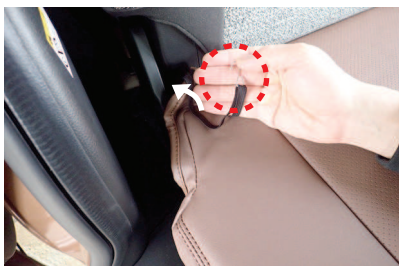
- 16** シートの内側です。
カバーの端に付いているマジックテープをシート裏に直接貼り付けて固定します。



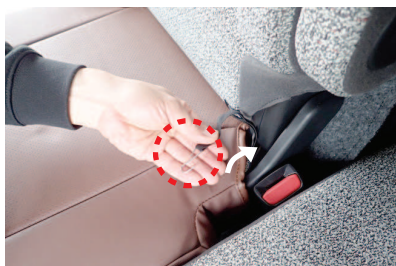
- 14** シート外側の後ろ部分です。
カバーの端に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。



- 17** シート内側の後ろ部分です。
カバーの端に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。



- 15** シート外側の軸部分です。
図の隙間に生地とゴムを入れ込みます。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。



- 18** シート外側の軸部分です。
図の隙間に生地とゴムを入れ込みます。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。



- 19** マルチユースフラップを引き出すスイッチ部分に生地を入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっています。慎重に生地を入れ込んでください。



- 22** スライドレバーの周りに生地を入れ込みます。シートの裏側部分には生地を入れ込みません。図の赤線で囲んでいる部分のみ生地を入れ込みます。こちらは奥行きが深くなっているのでしっかりと生地を入れ込んでください。



- 20** 生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 23** 赤線部分に生地を入れ込めたら、緩めたネジを締め直します。スライドレバー部分は図のようになります。



シートの裏から
ドライバーを使用する

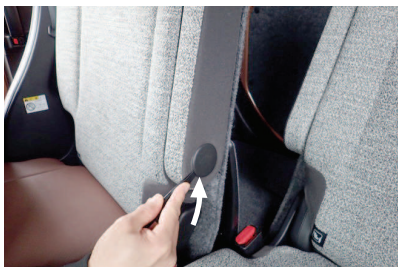
- 21** スライドレバーの下側にネジがあります。ドライバーを使用してネジを緩めます。ネジは完全に外してしまうと戻すのが難しくなるので注意してください。



- 24** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。マルチユースフラップの装着方法は29ページから確認してください。

Step 5

2列目背もたれの装着方法



- 1 アームレストを外します。
アームレスト外側のキャップをヘラなどを使用して外します。



- 2 ソケットレンチを使用してボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。



- 3 ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。
外したアームレストは、運転席側と助手席側が分かる状態にして保管してください。



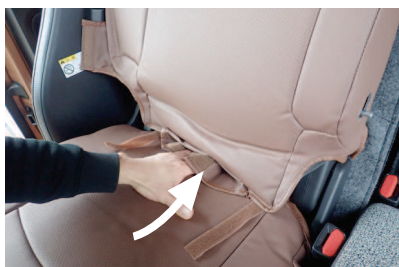
- 4 シート内側の肩口から、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 5 カバーをシート全体にかぶせます。



- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 10 引き出した生地とマジックテープを、カバーの背面下に付いているマジックテープと固定します。



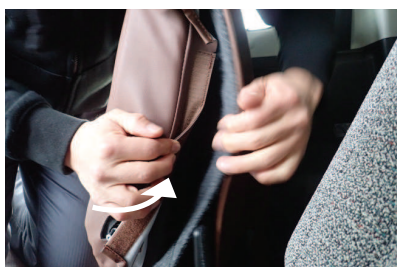
- 8 7番で入れ込んだ生地の両端に付いているマジックテープを、チャイルドシート固定用バーの上側を通してシートの背面側へ入れ込みます。



- 11 シートの内側です。こちらは純正シートのクッションと背面部分がマジックテープで固定されています。マジックテープの固定を図のように外します。



- 9 シートを前に倒して入れ込んだ生地とマジックテープを引き出します。



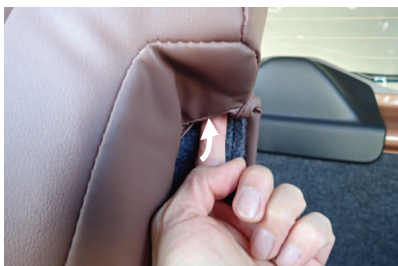
- 12 外したクッション側にオスのマジックテープが付いています。カバーには生地の裏側にメスのマジックテープが付いています。クッションのマジックテープとカバー裏側のマジックテープを固定します。



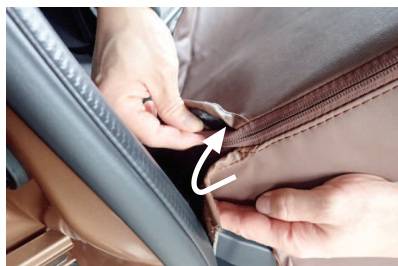
- 13** 11番で外した純正シートの背面部分を、カバーのマジックテープと固定します



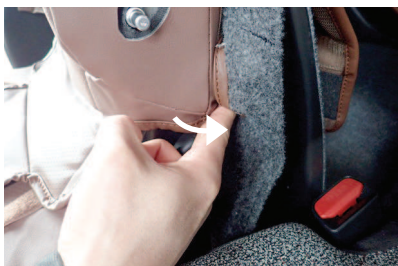
- 16** シートの外側です。側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 14** アームレスト収納部分の上側です。生地を図のように入れ込みます。こちらの生地に固定部材は付いていません。生地を入れ込むのみになります。



- 17** ファスナーの端をカバーの内側に入れ込みます。

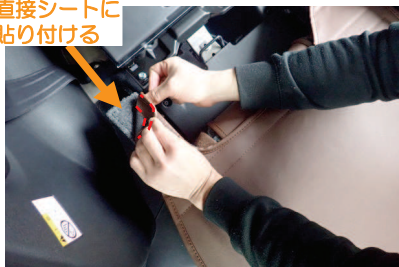


- 15** シート内側の下部分です。端にマジックテープが付いた生地を入れ込み、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープを固定できる部分はかなり奥にあります。しっかりと入れ込んで固定してください。



- 18** シート外側下部分です。シートの背面に、端にマジックテープが付いている生地を直接貼り付けて固定します。

直接シートに
貼り付ける



- 19** シートの背面側です。カバーはシートの形状に沿った形をしています。カバーをシートのラインに合わせます。端にマジックテープが付いた生地を直接シートに貼り付けて固定します。

直接シートに貼り付ける



- 20** シートの背面下、内側部分もマジックテープが付いた生地を直接シートに貼り付けて固定します。



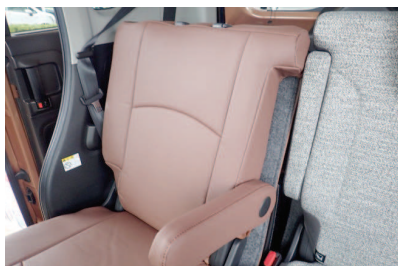
- 21** リクライニングレバーを引くと、内側にネジがあります。ドライバーを使用してネジを緩めます。ネジは完全に外してしまうと戻しにくくなるので注意してください。



- 22** リクライニングレバーの周りにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 23** レバー周りに生地を入れ込めたら、ネジを締め直します。リクライニングレバー部分は図のようになります。



- 24** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取付けます。

Step6

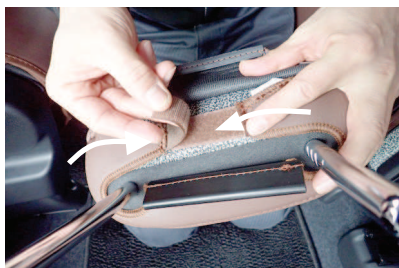
ヘッドレストの装着方法



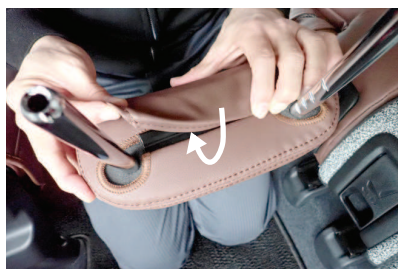
- 1** カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせてください。カバーは平らなプラスチックが付いているほうが前になります。



- 2** 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、端に付いているマジックテープを固定します。



- 4** ブラックを固定します。



- 5** プラスチックフックの固定方法は、フック状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6** ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト



- 8** ヘッドレストの先端からカバーをかぶせませす。先端部分の生地がしっかり張るまでカバーをかぶせてから、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせるようにしてください。



- 9** 図の部分は一番カバーの取り付けがきつくなります。ヘッドレストの角を指で押しながら慎重にカバーをかぶせてください。



- 10** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、シートからヘッドレストを外します。ヘッドレスト裏の生地を内へ寄せて、平らなプラスチックが付いている生地マジックテープと内へ寄せた生地端に付いているマジックテープを固定します。



- 11** 1列目ヘッドレストと同様にブラフックを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



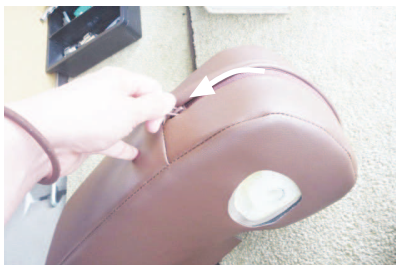
- 12** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 7

1 列目アームレストの装着方法



- 1** アームレストの本体からボックスを外します。
フタを開けると中にネジがあるのでドライバーを使用してネジを外します。



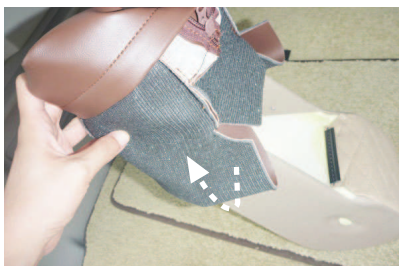
- 4** アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。
全体にカバーをかぶせたらファスナーを閉じます。



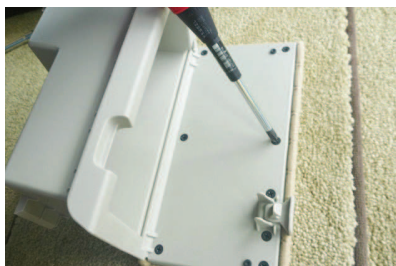
- 2** ボックスの裏側にはツメがあります。
ボックスを本体から矢印方向へスライドさせるように外します。



- 5** カバーのラインを整えます。
外側のボルト穴とカバーの加工穴の位置が合っていることを確認してください。



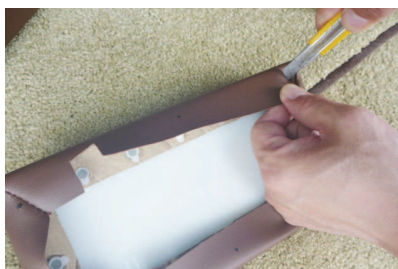
- 3** カバーのファスナーを開いて、カバーを半分ほど裏返した状態でアームレストの先端からかぶせます。



- 6** ボックスのフタを開いて、中にあるネジを全て外します。ドライバーを使用して外してください。
ネジを全て外すとフタの上部分が外れます。



- 7** 外したフタの上部部分にカバーをかぶせます。カバーの角をフタの角に合わせます。引っ掛けるようにしてカバーをかぶせていきます。



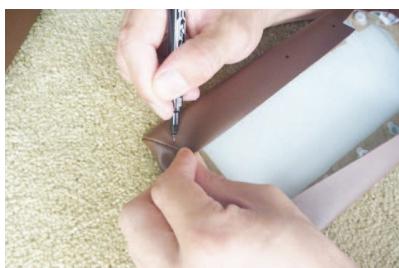
- 10** ペンで印を付けた位置にハサミやカッターなどを使用して切り込みを入れます。この際、カバーの縫い目を切らないように注意してください。



- 8** フタ全体にカバーをかぶせて、ラインを整えます。



- 11** 切り込みからネジ穴を図のように取り出します。



- 9** カバーに6番で外したネジ穴の位置を合わせて、ペンなどで印を付けます。角部分に印を付ける際は、カバーの縫い目を避けて印を付けてください。



- 12** フタをボックスに固定しなおします。



13 フタを戻すと図のようになります。



16 アームレストをシートに戻します。キャップを生地を挟み込み元に戻します。キャップの固定はあまり強くないのでしっかりと押し込み固定してください。



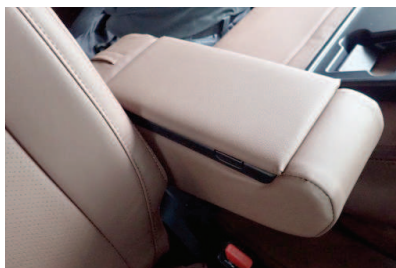
14 ボックスを本体に戻します。ボックス裏のツメの位置を確認して元に戻してください。



17 キャップを固定すると図のようになります。



15 カバーを全て取り付けると図のようになります。



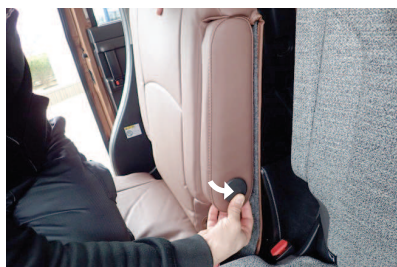
18 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

Step8

2列目アームレストの装着方法



- 1 カバーの大きい方の加工穴からカバーを裏返します。アームレストのラインに合わせて、アームレストの先端までカバーをかぶせます。



- 4 キャップを生地を挟み込み元に戻します。キャップがしっかり固定できていないと、シートをスライドさせた際、隣のシートとぶつかり破損する恐れがあるので注意してください。



- 2 アームレストの付け根部分にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 5 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



- 3 アームレストをシートに戻します。

Step 9

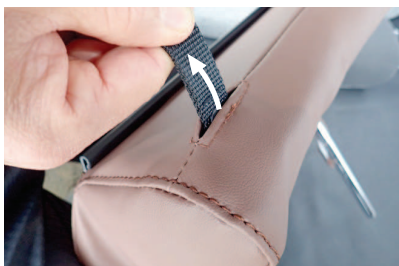
マルチユースフラップの装着方法



- 1 マルチユースフラップのカバーは、**2番**で取り出すベルトとカバーの加工穴の位置で前後を確認してください。フラップ本体にカバーをかぶせます。



- 4 両端にカバーをかぶせると図のようになります。



- 2 フラップの角度調整用のベルトをカバーの加工穴から取り出します。



- 5 両端に引っ掛けたいカバーを覆うようにして端にブラックの付いたカバーをかぶせます。この際、図のマジックテープを固定します。



- 3 フラップの両端に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 6 マジックテープで固定した生地をブラックで固定します。この際、平らなブラックと、フック状のブラックの端をきっちり合わせてください。



- 7 反対側のブラフックも固定します。こちら
もブラフックの端を合わせます。



- 8 両端のブラフックを固定すると図のよう
になります。



- 9 真ん中のブラフックの付いた生地を固定し
ます。
こちらは間違った固定方法です。
先に固定したブラフックの端の横に固定す
る方法は間違えです。この方法ではフラ
ップを動かしたりしていると、固定が外れ
やすくなります。
また生地と生地の間隙から純正シート地が
見えやすくなります。



- 10 正しい固定方法は先に固定していた両端の
生地に、1 cm程度生地が重なるように固
定します。
こうすることで、ブラフックの固定が外れ
にくくなり、純正シート地もはみ出しにく
くなります。
生地を重ねて固定するのでブラフックの固
定は少々きつくなります。



- 11 ブラフックを固定すると図のようになり
ます。



- 12 反対側は図のようになります。



- 13** フラップをシートに戻します。軸と差込口の穴がなかなか合わない場合があります。カバーの加工穴から指を入れてみると差し込み口の位置が分かります。後は軸を差し込む角度に注意して慎重に作業を行ってください。



- 14** 軸を差し込むことができたら、外側のスイッチを押して奥へ入れ込みます。15ページ3番で外したボルトを固定し直します。



- 15** カバーのラインを整えて、マルチユースフラップの完成です。フラップを動かしていると、軸の隙間から純正シート地が見えてくる場合があります。その場合はヘラなどで純正シート地をカバーの内側へ入れ込んでください。



- 16** 荷物ストッパーモードです。



- 17** オットマンモードです。

ここからはシートカバーを装着することでマルチユースフラップのロックが掛かりにくくなる場合について説明します。



- 18** シートカバーを装着する前であれば、フラップを前に出した状態から、図のように最後方の位置に戻すと、自然にロックが掛かります。ロックが掛かるとフラップは外側面のスイッチを押さないと前に出せなくなります。



- 19** シートカバーを装着した状態です。シートカバーを装着するとフラップを最後方の位置にしても、ロックが掛からない場合があります。こちらはカバーを装着したことにより、生地の手厚みで隙間が狭くなったことや、カバーが反発していることが原因です。



- 20** オットマンモード・レッグサポートモードから通常の状態に戻す際は、必ずロックが掛かっていることを確認してください。ロックが掛からない場合は、図のように手でマルチユースフラップを奥へ押ししてください。ロックが掛かったと感じたら、フラップをゆすって確実に固定されているか確認してください。



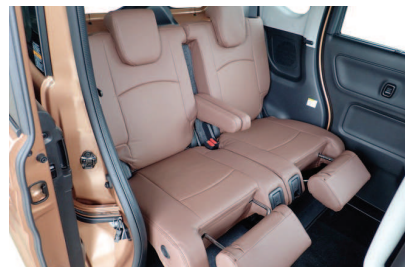
- 21** 20番の方法でもロックが掛からない場合は、シートの前側から直接フラップを押し込んでください。ロックが掛かっていない状態で、車を走行させると不意に作動する場合があります。マルチユースフラップは必ずロックを掛けた状態で使用してください。また、お子様等が操作された場合は、必ず同乗車様が確認していただくようお願いいたします。



スペースシアの1列目



スペースシア カスタムの1列目



2列目

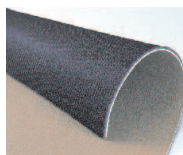


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816